

施策評価シート（平成28年度実績評価）

◎ 施策の基本情報

総合計画 中期 プラン	政策No.	5-2	政策名	持続可能で健全な 財政運営	政策の 目指す姿	財政を健全に維持しています	施策 主管課	契約管財課	施策主管 課長名	小原 有二
	施策No.	3	施策名	市有財産の適正な 管理	施策の 目指す姿	市有財産が良好に維持管理 されています	関係課名			
	現状と課題	・市有財産の中には利用されていない土地・建物や老朽化の進んだ建物があります。 市有財産の維持管理や更新には多額の経費が見込まれることから、予防保全の視点を取り入れた管理への転換が必要です。								

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組実績

(1) 市有財産の効率的な管理 ○市有財産の適切な保有量とあり方の検討 ・花巻市公共施設マネジメント計画【基本方針編】を平成29年3月に策定した。 第1章(計画概要)第2章(公共施設マネジメントに関する基本的な方針)第3章(用途別のマネジメントに関する基本的な方針)第4章(計画の推進) 資料編(公共施設等の現状及び将来の見通し)
(2) 市有財産の有効活用 ○未利用市有財産の売却促進 ・売却可能資産の測量(3箇所)及び分筆登記(2箇所7筆)、売却区画の看板設置(13箇所)、宅地建物取引業団体への売却媒介依頼(6箇所媒介有) ○公共施設の長寿命化の推進 ・花巻市公共施設マネジメント計画【基本方針編】を平成29年3月に策定した。 第1章(計画概要)第2章(公共施設マネジメントに関する基本的な方針)第3章(用途別のマネジメントに関する基本的な方針)第4章(計画の推進) 資料編(公共施設等の現状及び将来の見通し) ○本庁舎の設備改修 ・本庁舎本館2階照明設備をLED化した。 ・本庁舎の自動火災、非常放送設備を改修した。

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか)	単位	数値 区分	H23	H24	H25 (基準年度)	H26	H27	H28
				目標値						
				実績値						
				目標値						
				実績値						
				目標値						
				実績値						

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因

4 施策を構成する事務事業一覧

番号	事務事業名	担当課	施策への貢献度	
	事業内容(実績)		直結度	成果
1-1	市有財産適正管理事業(市有財産の効率的な管理)	契約管財課	A	A
	花巻市公共施設マネジメント計画【基本方針編】を平成29年3月に策定した。			
1-2	市有財産適正管理事業(市有財産の有効活用)	契約管財課	A	A
	売却可能資産の測量・分筆登記、売却区画の看板設置、宅地建物取引業団体への売却媒介依頼を行った。 (売却件数8件、内売却媒介件数6件)			
1-3	市有財産適正管理事業(市有財産の有効活用)	契約管財課	A	A
	花巻市公共施設マネジメント計画【基本方針編】を平成29年3月に策定した。			
2	庁舎設備等改修事業	契約管財課	A	B
	<ul style="list-style-type: none"> ・本庁舎本館2階照明設備をLED化した。 ・本庁舎の自動火災、非常放送設備を改修した。 			

5 施策を構成する事務事業の検証

(①市民ニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストのわりに成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか)
なし

(施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか)

・平成28年度に策定した花巻市公共施設マネジメント計画【基本方針編】に引き続き、更に、平成30年度までに第1次花巻市公共施設マネジメント計画【実施計画編】を策定し、平成31年度から5年間に実施する建替えや大規模改修、統廃合などの取組みを具体的に定める予定。

(新たに取り組むべき事業はないか)

なし

6 施策の総合的な評価

(課題)

市有財産の維持管理や更新には多額の経費が見込まれることから、予防保全の視点を取り入れた管理への転換が必要であり、計画的なマネジメントの実践が必要となっている。

(今後の方向性)

平成30年度までに第1次花巻市公共施設マネジメント計画【実施計画編】を策定し、平成31年度から5年間に実施する建替えや大規模改修、統廃合などの取組みを具体的に定めることとしている。

また、実施計画編は5年ごとに策定するものであり、5年ごと40年間に順次、計画を策定して管理を行っていく。